

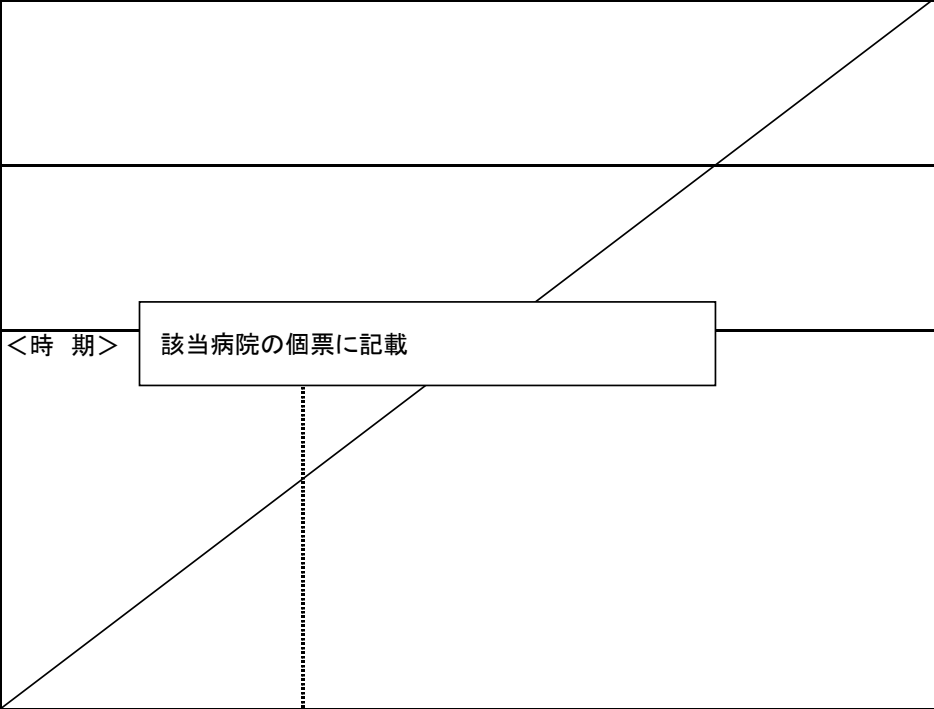
## 公立病院改革プランの概要(事業全体)

団 体 名	愛知県						
プランの名称	県立病院経営中期計画						
策 定 日	平成	22年	3月	19日			
対 象 期 間	平成	22年度	～	平成	24年度		
病院の現状	病院名	愛知県病院事業庁所管の県立5病院の計画について記載したものである。 「病院の現状」の各項目については、各病院の個票に記載した。					
	所在地						
	病床数						
	診療科目						
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付	<p>県の医療行政の延長線上にあって、その中核的実戦部隊としての役割を果たす。</p> <p>県立病院の基本機能のあり方として、「愛知県地域保健医療福祉計画」などによる県からの様々な要請に率先して取り組み、県の医療行政と的確に連携していく。</p> <p>(各病院の取組方針については、各病院の個票のとおり)</p>						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付	<p>病院事業会計への繰入金は、地方公営企業法第17条の2及び地方公営企業法施行令第8条の5の規定に基づき、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)による基準に準拠して算出した額を繰り入れている。</p>						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度実績	21年度(見込)	22年度	23年度	24年度
	経常収支比率	92.9	93.6	94.3	—	—	98.9
	経常収支比率(病院部門)	92.7	93.7	94.9	—	—	100.5
	職員給与費対医業収益比率	61.0	60.3	58.5	—	—	60.9
	病床利用率	74.8	72.0	73.9	—	—	81.3
上記目標数値設定の考え方	<p>(経常黒字化の目標年度:24年度) 平成24年度末までに、病院部門において良質な医療を確保しつつ経常黒字の達成を目指す。</p> <p>○経営改善の推進に係る数値目標については、公立病院改革ガイドラインで必須とされている上記3指標とした。</p> <p>○経常収支比率、職員給与費対医業収益比率には、「尾張診療所」、「一宮市、稲沢市への派遣者の人件費」を含む。</p> <p>○経常収支比率(病院部門)は、病院部門における経常収支比率。</p> <p>※病院部門:病院事業のうち収益でその支出を賄う構造のない非病院部門(がんセンター研究所、小児センター保健部門、循環器呼吸器病センターの後利用以外の部分)を除いたもの</p>						

				団体名 (病院名)	愛知県		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度実績	21年度	22年度	23年度	24年度
		各病院の個票に記載					
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	各病院の個票に記載					
	民間的経営手法の導入						
	事業規模・形態の見直し						
	経費削減・抑制対策						
	収入増加・確保対策						
	その他						
各年度の収支計画		別紙のとおり (収支計画には平成22年10月に開設予定の「がんセンター尾張診療所」及び「一宮市、稲沢市への派遣者の人件費」を含む。)					
その他の特記事項	病床利用率の状況	各病院の個票に記載					
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等						

団体名  
(病院名)

愛知県

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況			
	都道府県医療計画等における今後の方向性			
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。			<時期>
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に)	地方公営企業全部適用		
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に) 討中の場合は複数可	経営形態の見直しは行わない		
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>	
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	県立病院が良質な医療の提供をしつつ、経営の健全化を図るために、専門的見地から経営に対する評価・助言等を受けるため、外部有識者で構成する愛知県県立病院経営改善推進委員会において、毎年、本計画の進捗状況について客観的な点検・評価を受け、これを病院事業庁のホームページ等で公表する。		
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年1回		
その他特記事項				

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(参考数値)	23年度(参考数値)	24年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	26,127	26,326	27,255	27,881	27,566	27,387
	(1) 料 金 収 入	23,002	23,175	24,054	24,491	24,205	24,030
	(2) そ の 他	3,125	3,151	3,201	3,390	3,361	3,357
	うち他会計負担金	2,007	1,977	1,894	2,063	2,045	2,040
	2. 医 業 外 収 益	4,639	4,437	4,289	4,810	5,267	5,846
	(1) 他会計負担金・補助金	4,342	4,186	4,044	4,142	3,965	3,960
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	37	35	34	32	31	603
	(3) そ の 他	260	216	211	636	1,271	1,283
	経 常 収 益 (A)	30,766	30,763	31,544	32,691	32,833	33,233
	支 出	1. 医 業 費 用 b	32,004	31,890	32,607	32,710	32,954
(1) 職 員 給 与 費 c		15,914	15,854	15,938	15,780	16,736	16,687
(2) 材 料 費		8,413	8,371	8,676	8,445	8,169	8,024
(3) 経 費		4,022	4,275	4,384	4,810	4,588	4,632
(4) 減 価 償 却 費		2,375	2,013	1,884	1,737	1,535	1,495
(5) そ の 他		1,280	1,377	1,725	1,938	1,926	2,057
2. 医 業 外 費 用		1,096	959	842	730	704	703
(1) 支 払 利 息		848	784	709	573	548	547
(2) そ の 他		248	175	133	157	156	156
経 常 費 用 (B)		33,100	32,849	33,449	33,440	33,658	33,598
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		△2,334	△2,086	△1,905	△749	△825	△365
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	110	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	△110	0	0
純 損 益 (C)+(F)		△2,334	△2,086	△1,905	△859	△825	△365
累 積 欠 損 金 (G)		△34,531	△36,617	△38,522	△39,381	△40,206	△40,571
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	7,336	6,505	5,286	5,222	5,068	5,110
	流 動 負 債 (イ)	3,067	3,278	3,339	3,333	3,315	3,335
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 (オ)	{(イ)-(エ)} -{(ア)-(ウ)}	0	0	0	0	0	0
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		92.9	93.6	94.3	97.8	97.5	98.9
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		81.6	82.6	83.6	85.2	83.6	83.3
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		60.9	60.2	58.5	56.6	60.7	60.9
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)		0	0	0	0	0	0
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病 床 利 用 率		74.8	72.0	73.9	73.9	85.5	81.3

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。

※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

団体名  
(病院名)

愛知県(合計)

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度 区分		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度 (参考数値)	23年度 (参考数値)	24年度
		1. 企業債	918	1,825	4,415	762	1,419
2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	
3. 他会計負担金	1,134	1,077	578	1,183	1,136	1,213	
4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	
5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	
6. 国(県)補助金	0	0	0	9	52	1,208	
7. その他	3	3	17	17	17	17	
収入計 (a)	2,055	2,905	5,010	1,971	2,624	4,851	
うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	
前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	2,055	2,905	5,010	1,971	2,624	4,851	
1. 建設改良費	840	573	712	1,056	1,642	4,035	
2. 企業債償還金	2,170	3,163	5,557	1,851	1,828	1,924	
3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	
4. その他	0	0	0	0	0	0	
支出計 (B)	3,010	3,736	6,269	2,907	3,470	5,959	
差引不足額 (B)-(A) (C)	955	831	1,259	936	846	1,108	
1. 損益勘定留保資金	955	831	1,259	936	846	1,108	
2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	
3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	
4. その他	0	0	0	0	0	0	
計 (D)	955	831	1,259	936	846	1,108	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。

※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度	22年度	23年度	24年度
収益的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	6,348,173	6,163,260	5,938,359	6,204,252	6,010,647	6,001,088
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	1,134,189	1,076,401	577,336	1,182,943	1,136,733	1,212,600
合計	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	7,482,362	7,239,661	6,515,695	7,387,195	7,147,380	7,213,688

(注)

1 ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名	愛知県						
プランの名称	県立病院経営中期計画						
策 定 日	平成	22年	3月	19日			
対 象 期 間	平成	22年度	～	平成 24年度			
病院の現状	病 院 名	愛知県がんセンター中央病院					
	所 在 地	名古屋市千種区鹿子殿1番1号					
	病 床 数	500床(一般)					
	診 療 科 目	呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、乳腺内科、薬物療法内科、緩和ケア内科、頭頸部外科、胸部外科、消化器外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、麻酔科及び歯科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>(取組方針)</p> <p>○愛知県のがん医療における中核施設として、また、都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に最新・最先端のがん医療を提供する。</p> <p>都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に最新・最先端のがん医療を提供するとともに、愛知県のがん医療全体のレベルアップにも努める。さらに、中央病院と研究所が両輪となったがん医療の実践、研究開発、啓発を通じ、愛知県のみならず、日本、国際社会に貢献する。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<p>病院事業会計への繰入金は、地方公営企業法第17条の2及び地方公営企業法施行令第8条の5の規定に基づき、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)による基準に準拠して算出した額を繰り入れている。</p>					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度実績	21年度	22年度	23年度	24年度
	経常収支比率	100.5	101.5	101.0	—	—	103.8
	職員給与費対医業収益比率	46.6	46.2	45.1	—	—	45.6
	病床利用率	87.2	83.7	87.6	—	—	88.0
上記目標数値設定の考え方		<p>○経営改善の推進に係る数値目標については、公立病院改革ガイドラインで必須とされている上記3指標とした。</p> <p>○職員給与費対医業収益比率は、地方公営企業決算状況調査による「職員給与費」を用いて算出している。</p>					

				団体名 (病院名)	愛知県 (愛知県がんセンター中央病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度実績	21年度(見込)	22年度	23年度	24年度
新入院患者数		9,319	9,561	9,659	—	—	10,038
手術件数		2,632	2,761	2,700	—	—	2,950
外来化学療法件数		13,872	15,975	21,000	—	—	22,000
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	—				
		事業規模・形態の見直し	—				
		経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬品・診療材料の入札努力等による材料費単価の削減</li> <li>・薬品・診療材料の適正な管理・効率的な使用の促進</li> <li>・後発医薬品の利用促進</li> <li>・正規職員の再任用・嘱託化</li> </ul>				
		収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術体制の強化や高度医療機器整備を通じた診療機能の充実による入院診療単価の増加</li> <li>・ホームページ、出前講座などを通じた診療機能についての情報発信や病診・病病連携の強化、地域医師会との一層の連携の推進による新来患者・新入院患者の確保</li> <li>・外来化学療法の充実等による外来収益増加</li> <li>・自販機等の入札による行政財産貸付の実施</li> <li>・長期滞納医業未収金に対する回収業務委託の導入による回収率の向上</li> </ul>				
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員への経営状況についての定期的な周知による意識改革</li> <li>・部門別原価計算による経営管理</li> <li>・診療報酬請求精度の向上によるレセプト査定減の縮小</li> <li>・高額療養費現物給付制度の活用促進など相談体制の充実による未収金の発生防止</li> <li>・外部人材を活用した業務の分析や見直し</li> </ul>				
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	18年度	89.8%	19年度	87.2%	20年度	83.7%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	—					

団体名  
(病院名)

愛知県  
(愛知県がんセンター中央病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	再編・ネットワーク化に係る計画は策定していない。		
	都道府県医療計画等における今後の方向性			
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。			
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に)	公営企業法全部適用		
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に) 討中の場合は複数可	経営形態の見直しは行わない		
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>	
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	県立病院が良質な医療の提供をしつつ、経営の健全化を図るために、専門的見地から経営に対する評価・助言等を受けるため、外部有識者で構成する愛知県県立病院経営改善推進委員会において、毎年、本計画の進捗状況について客観的な点検・評価を受け、これを病院事業庁のホームページ等で公表する。		
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年1回		
その他特記事項				



1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度						
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(参考数値)	23年度(参考数値)	24年度	
収 入	1. 医 業 収 益 a	12,284	12,717	13,804	14,746	14,872	14,874	
	(1) 料 金 収 入	10,091	10,513	11,561	12,445	12,538	12,540	
	(2) そ の 他	2,193	2,204	2,243	2,301	2,334	2,334	
	うち他会計負担金	1,336	1,307	1,231	1,255	1,278	1,278	
	2. 医 業 外 収 益	1,567	1,563	1,479	1,653	1,705	1,723	
	(1) 他会計負担金・補助金	1,357	1,373	1,292	1,446	1,499	1,495	
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	15	17	18	16	16	18	
	(3) そ の 他	195	173	169	191	190	210	
	経 常 収 益 (A)	13,851	14,280	15,283	16,399	16,577	16,597	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	13,358	13,666	14,807	15,578	16,024	15,742
		(1) 職 員 給 与 費 c	5,703	5,848	6,219	6,311	7,026	6,783
		(2) 材 料 費	4,229	4,492	4,940	5,111	4,897	4,827
		(3) 経 費	1,563	1,637	1,717	2,042	2,057	2,099
		(4) 減 価 償 却 費	1,057	800	810	812	742	731
		(5) そ の 他	806	889	1,121	1,302	1,302	1,302
2. 医 業 外 費 用		412	392	323	246	244	250	
(1) 支 払 利 息		337	313	257	166	164	170	
(2) そ の 他		75	79	66	80	80	80	
経 常 費 用 (B)		13,770	14,058	15,130	15,824	16,268	15,992	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	81	222	153	575	309	605		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0	
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0	
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0	
純 損 益 (C)+(F)	81	222	153	575	309	605		
累 積 欠 損 金 (G)	△10,535	△10,313	△10,186	△9,611	△9,302	△8,697		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	3,786	3,412	2,444	2,276	2,126	2,094	
	流 動 負 債 (イ)	1,465	1,541	1,661	1,761	1,833	1,803	
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0	
差引 不 良 債 務 (オ)	0	0	0	0	0	0		
	[(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]							
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.6	101.6	101.0	103.6	101.9	103.8		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	92.0	93.1	93.2	94.7	92.8	94.5		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	46.4	46.0	45.1	42.8	47.2	45.6		
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0		
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
病 床 利 用 率	87.2	83.7	87.6	88.0	88.0	88.0		

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。

※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度						
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(参考数値)	23年度(参考数値)	24年度	
収 入	1. 企業債	526	1,690	3,194	470	1,085	450	
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	
	3. 他会計負担金	303	308	198	441	438	494	
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	
	7. その他	2	1	16	16	16	16	
	収入計(a)	831	1,999	3,408	927	1,539	960	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)	0	0	0	0	0	0	
	前年度許可債で当年度借入分(c)	0	0	0	0	0	0	
	純計(a)-{(b)+(c)}(A)	831	1,999	3,408	927	1,539	960	
	支 出	1. 建設改良費	477	364	468	518	1,242	788
		2. 企業債償還金	672	1,902	3,396	739	734	843
		3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
4. その他		0	0	0	0	0	0	
支出計(B)		1,149	2,266	3,864	1,257	1,976	1,631	
差引不足額(B)-(A)(C)		318	267	456	330	437	671	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	318	267	456	330	437	671	
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	
	4. その他	0	0	0	0	0	0	
	計(D)	318	267	456	330	437	671	
補てん財源不足額(C)-(D)(E)		0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(F)		0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額(E)-(F)		0	0	0	0	0	0	

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。

※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度	22年度	23年度	24年度
収益的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	2,693,357	2,679,734	2,522,624	2,701,066	2,777,557	2,773,349
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	302,974	307,626	197,915	440,864	438,489	493,552
合計	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	2,996,331	2,987,360	2,720,539	3,141,930	3,216,046	3,266,901

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名	愛知県						
プランの名称	県立病院経営中期計画						
策 定 日	平成	22年	3月	19日			
対 象 期 間	平成	22年度	～	平成 24年度			
病院の現状	病 院 名	愛知県がんセンター愛知病院					
	所 在 地	岡崎市欠町字栗宿18番地					
	病 床 数	276床(一般220、結核50、感染症6)					
	診 療 科 目	内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、乳腺内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科及び麻酔科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>(取組方針)</p> <p>○がんセンター化をさらに進め、三河地域におけるがん拠点病院を目指す。</p> <p>○がん患者の状況に応じて疼痛等の緩和を目的とする医療を早期から適切に提供する。</p> <p>三河地域におけるがん診療実績を踏まえ、がんセンターへの組織統合以来図ってきたがん診療機能の充実をさらに進め、一層のがんセンター化を進める。また、緩和ケア病棟を運営してきた実績を活かし、在宅で療養する患者さんに対する緩和ケアの拡充などに取り組むこととする。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<p>病院事業会計への繰入金は、地方公営企業法第17条の2及び地方公営企業法施行令第8条の5の規定に基づき、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)による基準に準拠して算出した額を繰り入れている。</p>					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度実績	21年度	22年度	23年度	24年度
	経常収支比率	92.5	89.3	85.2	—	—	90.8
	職員給与費対医業収益比率	61.7	64.4	68.1	—	—	66.6
	病床利用率	80.1	75.5	73.6	—	—	80.4
上記目標数値設定の考え方		<p>○経営改善の推進に係る数値目標については、公立病院改革ガイドラインで必須とされている上記3指標とした。</p> <p>○職員給与費対医業収益比率は、地方公営企業決算状況調査による「職員給与費」を用いて算出している。</p>					

				団体名 (病院名)	愛知県 (愛知県がんセンター愛知病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度実績	21年度(見込)	22年度	23年度	24年度
新入院患者数(がん)		2,929	3,138	3,100	—	—	3,550
手術件数(がん)		535	539	600	—	—	740
入院延患者数(緩和ケア 病棟)		6,242	6,661	6,300	—	—	6,900
緩和ケア利用件数		—	—	—	—	—	960
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての 具体的な取組及び実施時期						
	民間的経営手法の導入	—					
	事業規模・形態の見直し	—					
	経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬品・診療材料の入札努力等による材料費単価の削減</li> <li>・薬品・診療材料の適正な管理・効率的な使用の促進</li> <li>・後発医薬品の利用促進</li> <li>・正規職員の再任用・嘱託化</li> </ul>					
	収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術体制の強化や高度医療機器整備を通じた診療機能の充実による入院診療単価の増加</li> <li>・ホームページ、出前講座などを通じた診療機能についての情報発信や病診・病病連携の強化、地域医師会との一層の連携の推進による新来患者・新入院患者の確保</li> <li>・自販機等の入札による行政財産貸付の実施</li> <li>・長期滞納医業未収金に対する回収業務委託の導入による回収率の向上</li> </ul>					
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員への経営状況についての定期的な周知による意識改革</li> <li>・部門別原価計算による経営管理</li> <li>・診療報酬請求精度の向上によるレセプト査定減の縮小</li> <li>・高額療養費現物給付制度の活用促進など相談体制の充実による未収金の発生防止</li> <li>・外部人材を活用した業務の分析や見直し</li> </ul>						
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の 特記事項	病床利用率の状況	18年度	79.2%	19年度	80.1%	20年度	75.5%
	病床利用率の状況を踏 まえた病床数等の抜本 見直し、施設の増改築 計画の状況等	—					

団体名  
(病院名)

愛知県  
(愛知県がんセンター愛知病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	再編・ネットワーク化に係る計画は策定していない。	
	都道府県医療計画等における今後の方向性		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。		
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に)	公営企業法全部適用	
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に) 討中の場合は複数可	経営形態の見直しは行わない	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	県立病院が良質な医療の提供をしつつ、経営の健全化を図るために、専門的見地から経営に対する評価・助言等を受けるため、外部有識者で構成する愛知県県立病院経営改善推進委員会において、毎年、本計画の進捗状況について客観的な点検・評価を受け、これを病院事業庁のホームページ等で公表する。	
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年1回	
その他特記事項			

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(参考数値)	23年度(参考数値)	24年度
区分							
収	1. 医 業 収 益 a	3,972	3,921	4,004	4,471	4,488	4,465
	(1) 料 金 収 入	3,651	3,589	3,652	4,115	4,129	4,115
	(2) そ の 他	321	332	352	356	359	350
	うち他会計負担金	177	179	182	180	183	183
	2. 医 業 外 収 益	648	612	559	576	592	589
	(1) 他会計負担金・補助金	616	596	537	560	577	573
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	8	8	7	7	7	7
	(3) そ の 他	24	8	15	9	8	9
	経 常 収 益 (A)	4,620	4,533	4,563	5,047	5,080	5,054
	入	1. 医 業 費 用 b	4,835	4,925	5,231	5,340	5,533
(1) 職 員 給 与 費 c		2,449	2,522	2,728	2,743	3,010	2,972
(2) 材 料 費		1,162	1,186	1,206	1,240	1,218	1,201
(3) 経 費		642	678	741	864	867	867
(4) 減 価 償 却 費		402	395	384	312	257	251
(5) そ の 他		180	144	172	181	181	181
2. 医 業 外 費 用		155	147	127	113	104	97
(1) 支 払 利 息		127	121	116	99	90	84
(2) そ の 他		28	26	11	14	14	13
経 常 費 用 (B)		4,990	5,072	5,358	5,453	5,637	5,569
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		△370	△539	△795	△406	△557	△515
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益 (D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)		△370	△539	△795	△406	△557	△515
累 積 欠 損 金 (G)		△5,824	△6,363	△7,162	△7,568	△8,125	△8,643
不良債務	流 動 資 産 (ア)	977	786	535	741	786	747
	流 動 負 債 (イ)	388	369	392	406	429	424
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不良債務 (オ)	0	0	0	0	0	0	
{(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}		0	0	0	0	0	0
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		92.6	89.4	85.2	92.6	90.1	90.8
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		82.2	79.6	76.5	83.7	81.1	81.6
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		61.7	64.3	68.1	61.4	67.1	66.6
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)		0	0	0	0	0	0
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病 床 利 用 率		80.1	75.5	73.6	80.4	80.4	80.4

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。  
 ※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度						
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(参考数値)	23年度(参考数値)	24年度	
収 入	1. 企業債	166	75	730	180	100	180	
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	
	3. 他会計負担金	124	162	95	190	206	187	
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	
	7. その他	1	2	1	1	1	1	
	収入計 (a)	291	239	826	371	307	368	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	291	239	826	371	307	368	
	支 出	1. 建設改良費	245	112	175	226	100	180
		2. 企業債償還金	193	273	890	324	355	315
		3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
4. その他		0	0	0	0	0	0	
支出計 (B)		438	385	1,065	550	455	495	
差引不足額 (B)-(A) (C)		147	146	239	179	148	127	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	147	146	239	179	148	127	
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	
	4. その他	0	0	0	0	0	0	
	計 (D)	147	146	239	179	148	127	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0	

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。

※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度	22年度	23年度	24年度
収益的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	792,419	774,601	719,329	739,760	759,938	756,517
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	124,090	162,222	94,833	190,001	206,387	186,789
合計	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	916,509	936,823	814,162	929,761	966,325	943,306

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名	愛知県						
プ ラ ン の 名 称	県立病院経営中期計画						
策 定 日	平成	22年	3月	19日			
対 象 期 間	平成	22年度	～	平成	24年度		
病院の現状	病 院 名	愛知県立城山病院					
	所 在 地	名古屋市千種区徳川山町4丁目1番地7号					
	病 床 数	342床(精神)					
	診 療 科 目	精神科、神経科、内科及び歯科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>(取組方針)</p> <p>○ 県全体の精神科医療体制の中核病院として、先進的な専門医療を提供する。</p> <p>現在の城山病院で対応している民間で対応困難な症例に引き続き対応しつつ、精神科救急医療を始め、県立病院として城山病院に求められる医療を提供するとともに、患者の療養環境の改善を図るため、全面的な改築に取り組む。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<p>病院事業会計への繰入金は、地方公営企業法第17条の2及び地方公営企業法施行令第8条の5の規定に基づき、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)による基準に準拠して算出した額を繰り入れている。</p>					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度実績	21年度	22年度	23年度	24年度
	経常収支比率	86.5	85.5	92.4	—	—	92.4
	職員給与費対医業収益比率	115.0	113.3	102.2	—	—	131.1
	病床利用率	85.6	84.8	84.5	—	—	72.8
上記目標数値設定の考え方		<p>○経営改善の推進に係る数値目標については、公立病院改革ガイドラインで必須とされている上記3指標とした。</p> <p>○職員給与費対医業収益比率は、地方公営企業決算状況調査による「職員給与費」を用いて算出している。</p> <p>○24年度の職員給与費対医業収益比率は、医療観察法病棟の準備要員の給与費増を見込んでいる。</p> <p>○24年度の病床利用率は、改築に係る一部病棟の閉鎖による患者減を見込んでいる。</p>					



				団体名 (病院名)	愛知県 (愛知県立城山病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度実績	21年度	22年度	23年度	24年度
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	—				
		事業規模・形態の見直し	—				
		経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬品・診療材料の入札努力等による材料費単価の削減</li> <li>・薬品・診療材料の適正な管理・効率的な使用の促進</li> <li>・後発医薬品の利用促進</li> <li>・正規職員の再任用・嘱託化</li> </ul>				
		収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科救急等の診療報酬加算の取得に向けた改築</li> <li>・長期滞納医業未収金に対する回収業務委託の導入による回収率の向上</li> </ul>				
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員への経営状況についての定期的な周知による意識改革</li> <li>・部門別原価計算による経営管理</li> <li>・診療報酬請求精度の向上によるレセプト査定減の縮小</li> <li>・高額療養費現物給付制度の活用促進など相談体制の充実による未収金の発生防止</li> <li>・外部人材を活用した業務の分析や見直し</li> </ul>				
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	18年度	86.1%	19年度	85.6%	20年度	84.8%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	—					

団体名  
(病院名)

愛知県  
(愛知県立城山病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	再編・ネットワーク化に係る計画は策定していない。	
	都道府県医療計画等における今後の方向性		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。		
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に)	公営企業法全部適用	
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に) 討中の場合は複数可	経営形態の見直しは行わない	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	県立病院が良質な医療の提供をしつつ、経営の健全化を図るために、専門的見地から経営に対する評価・助言等を受けるため、外部有識者で構成する愛知県県立病院経営改善推進委員会において、毎年、本計画の進捗状況について客観的な点検・評価を受け、これを病院事業庁のホームページ等で公表する。	
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年1回	
その他特記事項			

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(参考数値)	23年度(参考数値)	24年度
区分							
収	1. 医 業 収 益 a	2,048	2,045	2,058	2,172	2,075	1,940
	(1) 料 金 収 入	1,936	1,923	1,945	2,041	1,942	1,807
	(2) そ の 他	112	122	113	131	133	133
	うち他会計負担金	105	114	103	115	117	117
	2. 医 業 外 収 益	764	746	810	789	799	1,446
	(1) 他会計負担金・補助金	739	731	762	776	786	792
	(2) 国(県)補助金	12	7	7	7	7	577
	(3) そ の 他	13	8	41	6	6	77
	経 常 収 益 (A)	2,812	2,791	2,868	2,961	2,874	3,386
	入	1. 医 業 費 用 b	3,242	3,258	3,099	3,122	3,259
(1) 職 員 給 与 費 c		2,357	2,319	2,104	2,119	2,286	2,543
(2) 材 料 費		402	299	302	329	297	294
(3) 経 費		357	521	525	528	529	531
(4) 減 価 償 却 費		65	65	62	60	61	59
(5) そ の 他		61	54	106	86	86	216
2. 医 業 外 費 用		11	6	6	9	8	20
(1) 支 払 利 息		5	4	4	5	4	16
(2) そ の 他		6	2	2	4	4	4
経 常 費 用 (B)		3,253	3,264	3,105	3,131	3,267	3,663
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		△441	△473	△237	△170	△393	△277
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益(D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)		△441	△473	△237	△170	△393	△277
累 積 欠 損 金 (G)		△7,058	△7,531	△7,775	△7,945	△8,338	△8,615
不良債務	流 動 資 産 (ア)	483	575	643	713	802	933
	流 動 負 債 (イ)	466	524	498	513	550	612
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不良債務 (オ)	{(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}	0	0	0	0	0	0
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		86.4	85.5	92.4	94.6	88.0	92.4
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		63.2	62.8	66.4	69.6	63.7	53.3
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		115.1	113.4	102.2	97.6	110.2	131.1
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)		0	0	0	0	0	0
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病 床 利 用 率		85.6	84.8	84.5	89.2	89.2	72.8

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。

※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

団体名  
(病院名)

愛知県(城山病院)

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度						
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(参考数値)	23年度(参考数値)	24年度	
収 入	1. 企業債	0	0	0	0	134	1,683	
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	
	3. 他会計負担金	14	5	3	35	6	36	
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	
	6. 国(県)補助金	0	0	0	9	52	1,208	
	7. その他	0	0	0	0	0	0	
	収入計 (a)	14	5	3	44	192	2,927	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	14	5	3	44	192	2,927	
	支 出	1. 建設改良費	47	5	10	86	200	2,967
		2. 企業債償還金	21	7	7	8	8	8
		3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
4. その他		0	0	0	0	0	0	
支出計 (B)		68	12	17	94	208	2,975	
差引不足額 (B)-(A) (C)		54	7	14	50	16	48	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	54	7	14	50	16	48	
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	
	4. その他	0	0	0	0	0	0	
	計 (D)	54	7	14	50	16	48	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0	

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。

※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度	22年度	23年度	24年度
収益的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	843,437	844,979	864,979	890,244	902,952	908,289
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	13,992	4,591	2,622	35,119	5,774	36,319
合計	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	857,429	849,570	867,601	925,363	908,726	944,608

(注)

1 ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名	愛知県							
プ ラ ン の 名 称	県立病院経営中期計画							
策 定 日	平成	22年	3月	19日				
対 象 期 間	平成	22年度	～	平成 24年度				
病院の現状	病 院 名	愛知県立循環器呼吸器病センター						
	所 在 地	一宮市大和町苅安賀2135番地						
	病 床 数	286床(一般230、結核50、感染症6)						
	診 療 科 目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線診断科、麻酔科、歯科及び歯科口腔外科						
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		(取組方針) 尾張西部医療圏における医療水準の確保のための機能移行及びそれに伴う施設の廃止						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		病院事業会計への繰入金は、地方公営企業法第17条の2及び地方公営企業法施行令第8条の5の規定に基づき、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)による基準に準拠して算出した額を繰り入れている。						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度実績	21年度	22年度	23年度	24年度	
	経常収支比率	80.3	75.5	72.7	平成22年10月1日を目途に、施設を廃止するため、目標設定を行わない。			
	職員給与費対医業収益比率	67.1	72.4	75.9				
	病床利用率	42.0	37.2	34.0				
上記目標数値設定の考え方								

				団体名 (病院名)	愛知県 (愛知県立循環器呼吸器病センター)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度実績	21年度	22年度	23年度	24年度
		平成22年10月1日を目途に、施設を廃止するため、目標設定を行わない。					
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	—				
		事業規模・形態の見直し	尾張西部医療圏における医療水準の確保のため、圏域内の市民病院へ機能移行を行う。これに伴い、平成22年10月を目途に施設を廃止する。				
		経費削減・抑制対策	—				
		収入増加・確保対策	—				
		その他	—				
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	18年度	58.9%	19年度	42.0%	20年度	37.2%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	平成22年10月1日を目途に、施設を廃止する。					

団体名  
(病院名)

愛知県  
(愛知県立循環器呼吸器病セ  
ンター)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	愛知県立循環器呼吸器病センターが所在する「尾張西部医療圏」には、一宮市立市民病院(530床)、一宮市立木曾川市民病院(138床)、稲沢市民病院(392床)及び愛知県厚生農業協同組合連合会尾西病院(323床)が開設されている。 ※病床数は「病院名簿」(平成21年10月1日現在)より	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	「公立病院等地域医療連携のための有識者会議(平成20年12月)」において、「一宮市立市民病院は、「心筋梗塞」における医療機能の充実が求められており、また、地域住民に対して、合併症治療におけるより質の高い医療提供を行うため、県立循環器呼吸器病センターとの統合も視野に入れつつ、連携の強化を図っていく必要がある。」との提言がなされた。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 平成22年10月1日を目途	<内容> 公立病院等地域医療連携のための有識者会議からの提言、実務的な検討や大学当局との調整を踏まえ、循環器呼吸器病センターの循環器医療機能、結核医療機能、感染症医療機能を一宮市立市民病院へ移行する。  循環器呼吸器病センターが担ってきた心臓カテーテル治療など循環器内科の診療について、稲沢市民にとってより近い稲沢市民病院で受けられるよう分担を図る。  診療機能の円滑な移行を進めるため6ヶ月の移行期間を設け、平成22年10月1日を目途に移行を完了し、施設を廃止する。
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所)	公営企業法全部適用	
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所) 討中の場合は複数可	平成22年10月1日を目途に、施設を廃止する。	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	県立病院が良質な医療の提供をしつつ、経営の健全化を図るために、専門的見地から経営に対する評価・助言等を受けるため、外部有識者で構成する愛知県県立病院経営改善推進委員会において、毎年、本計画の進捗状況について客観的な点検・評価を受け、これを病院事業庁のホームページ等で公表する。	
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年1回	
その他特記事項			

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(参考数値)	23年度	24年度
区分							
収 入	1. 医 業 収 益 a	4,113	3,356	2,792	1,085		
	(1) 料 金 収 入	3,881	3,129	2,578	825		
	(2) そ の 他	232	227	214	260		
	うち他会計負担金	174	169	165	239		
	2. 医 業 外 収 益	575	484	382	293		
	(1) 他会計負担金・補助金	563	474	377	290		
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	1	2	1	1		
	(3) そ の 他	11	8	4	2		
	経 常 収 益 (A)	4,688	3,840	3,174	1,378		
	支 出	1. 医 業 費 用 b	5,638	4,919	4,224	2,079	
(1) 職 員 給 与 費 c		2,758	2,429	2,118	994		
(2) 材 料 費		1,703	1,371	1,130	378		
(3) 経 費		641	585	545	381		
(4) 減 価 償 却 費		441	438	315	301		
(5) そ の 他		95	96	116	25		
2. 医 業 外 費 用		204	168	140	126		
(1) 支 払 利 息		175	150	140	119		
(2) そ の 他		29	18	0	7		
経 常 費 用 (B)		5,842	5,087	4,364	2,205		
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		△1,154	△1,247	△1,190	△827		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0		
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	110		
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	△110		
純 損 益 (C)+(F)		△1,154	△1,247	△1,190	△937		
累 積 欠 損 金 (G)		△6,427	△7,674	△8,812	△9,749		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	1,520	838	495	327		
	流 動 負 債 (イ)	403	464	399	197		
	うち一時借入金	0	0	0	0		
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0		
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0		
	差引 不 良 債 務 (オ) {(イ)-(エ)}-{(ア)-(ウ)}	0	0	0	0		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		80.2	75.5	72.7	62.5		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		73.0	68.2	66.1	52.2		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		67.1	72.4	75.9	91.6		
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)		0	0	0	0		
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0		
病 床 利 用 率		42.0	37.2	34.0	20.3		

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。  
 ※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。



## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度 (参考数値)	23年度	24年度	
収 入	1. 企業債	226	60	471	0			
	2. 他会計出資金	0	0	0	0			
	3. 他会計負担金	181	177	98	173			
	4. 他会計借入金	0	0	0	0			
	5. 他会計補助金	0	0	0	0			
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0			
	7. その他	0	0	0	0			
	収入計 (a)	407	237	569	173			
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0			
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0			
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	407	237	569	173			
	支 出	1. 建設改良費	70	77	29	0		
		2. 企業債償還金	516	343	755	263		
		3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0		
4. その他		0	0	0	0			
支出計 (B)		586	420	784	263			
差引不足額 (B)-(A) (C)	179	183	215	90				
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	179	183	215	90			
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0			
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0			
	4. その他	0	0	0	0			
	計 (D)	179	183	215	90			
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0				
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0				
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0				

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。

※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度	22年度	23年度	24年度
収益的収支	(0)	(0)	(0)	(0)		
	737,173	643,469	593,864	529,373		
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)		
	181,357	176,605	97,773	172,604		
合計	(0)	(0)	(0)	(0)		
	918,530	820,074	691,637	701,977		

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名	愛知県						
プ ラ ン の 名 称	県立病院経営中期計画						
策 定 日	平成	22年	3月	19日			
対 象 期 間	平成	22年度	～	平成 24年度			
病院の現状	病 院 名	あいち小児保健医療総合センター					
	所 在 地	大府市森岡町尾坂田1番2					
	病 床 数	200床(一般)					
	診 療 科 目	小児科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、内分泌内科、心療内科、感染症内科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、精神科、アレルギー科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、臨床検査科、麻酔科、小児歯科、矯正歯科及び歯科口腔外科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付	<p>(取組方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小児保健医療の専門施設として、高度で先進的な小児医療を提供する。</li> <li>○地域の病院・診療所との役割分担を行い、小児医療についての救急医療体制の確保に努める。</li> </ul> <p>県内唯一の小児医療の専門病院として、多くの小児専門医を擁し、高度で先進的な小児医療を行っており、今後とも、その機能を十分に発揮していく必要がある。また、社会的要請の強い小児救急医療にも、その高度かつ総合的な医療機能を発揮できるようにしていく必要がある。</p>						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付	<p>病院事業会計への繰入金は、地方公営企業法第17条の2及び地方公営企業法施行令第8条の5の規定に基づき、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)による基準に準拠して算出した額を繰り入れている。</p>						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度実績	21年度	22年度	23年度	24年度
	経常収支比率	91.4	99.1	102.9	—	—	102.6
	職員給与費対医業収益比率	71.3	63.8	60.2	—	—	59.2
	病床利用率	64.3	65.7	69.0	—	—	80.0
上記目標数値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経営改善の推進に係る数値目標については、公立病院改革ガイドラインで必須とされている上記3指標とした。</li> <li>○職員給与費対医業収益比率は、地方公営企業決算状況調査による「職員給与費」を用いて算出している。</li> </ul>						

				団体名 (病院名)	愛知県 (あいち小児保健医療総合セ ンター)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度実績	21年度(見込)	22年度	23年度	24年度
病床利用率		64.3	65.7	69.0	—	—	80.0
新入院患者数		4,069	4,398	4,530	—	—	5,080
手術件数		1,644	1,613	1,700	—	—	2,200
救急車搬送受入件数		257	222	250	—	—	570
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入		—			
		事業規模・形態の見直し		—			
		経費削減・抑制対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬品・診療材料の入札努力等による材料費単価の削減</li> <li>・薬品・診療材料の適正な管理・効率的な使用の促進</li> <li>・後発医薬品の利用促進</li> <li>・正規職員の再任用・嘱託化</li> </ul>			
		収入増加・確保対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児救急医療への積極的な対応、手術体制や病診・病病連携の強化による新来患者・新入院患者の増</li> <li>・小児入院医療管理料1の確保</li> <li>・自販機等の入札による行政財産貸付の実施</li> <li>・長期滞納医業未収金に対する回収業務委託の導入による回収率の向上</li> </ul>			
		その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員への経営状況についての定期的な周知による意識改革</li> <li>・部門別原価計算による経営管理</li> <li>・診療報酬請求精度の向上によるレセプト査定減の縮小</li> <li>・高額療養費現物給付制度の活用促進など相談体制の充実による未収金の発生防止</li> <li>・外部人材を活用した業務の分析や見直し</li> </ul>			
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	18年度	67.7%	19年度	64.3%	20年度	65.7%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	愛知県地域保健医療計画において、県内唯一の小児専門病院として、小児全体に対応できる高度な救急対応が求められており、小児救急医療へ積極的に対応することとしている。このため、今以上に患者数が増えることが予想されるため、病床数削減等の抜本的な見直しは予定していない。					

団体名  
(病院名)

愛知県  
(あいち小児保健医療総合センター)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	再編・ネットワーク化に係る計画は策定していない。	
	都道府県医療計画等における今後の方向性		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。		
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に)	公営企業法全部適用	
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に 討中の場合は複数可)	経営形態の見直しは行わない	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	県立病院が良質な医療の提供をしつつ、経営の健全化を図るために、専門的見地から経営に対する評価・助言等を受けるため、外部有識者で構成する愛知県県立病院経営改善推進委員会において、毎年、本計画の進捗状況について客観的な点検・評価を受け、これを病院事業庁のホームページ等で公表する。	
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年1回	
その他特記事項			

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(参考数値)	23年度(参考数値)	24年度
区分							
収	1. 医業収益 a	3,710	4,287	4,597	5,384	5,414	5,398
	(1) 料金収入	3,443	4,021	4,318	5,052	5,078	5,052
	(2) その他	267	266	279	332	336	346
	うち他会計負担金	215	208	213	264	268	268
	2. 医業外収益	1,085	1,032	1,044	1,079	1,185	1,104
	(1) 他会計負担金・補助金	1,067	1,012	1,024	1,069	1,091	1,088
	(2) 国(県)補助金	1	1	1	1	1	1
	(3) その他	17	19	19	9	93	15
	経常収益(A)	4,795	5,319	5,641	6,463	6,599	6,502
	入	1. 医業費用 b	4,931	5,122	5,246	6,072	6,183
(1) 職員給与費 c		2,647	2,736	2,769	3,118	3,218	3,194
(2) 材料費		917	1,023	1,098	1,385	1,376	1,327
(3) 経費		819	854	856	973	982	982
(4) 減価償却費		410	315	313	252	263	267
(5) その他		138	194	210	344	344	344
2. 医業外費用		314	246	238	236	230	225
(1) 支払利息		204	196	191	184	178	173
(2) その他		110	50	47	52	52	52
経常費用(B)		5,245	5,368	5,484	6,308	6,413	6,339
経常損益(A)-(B)(C)		△450	△49	157	155	186	163
特別損益	1. 特別利益(D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益(D)-(E)(F)	0	0	0	0	0	0
純損益(C)+(F)		△450	△49	157	155	186	163
累積欠損金(G)		△4,687	△4,736	△4,587	△4,432	△4,246	△4,083
不良債務	流動資産(ア)	570	894	930	923	911	892
	流動負債(イ)	345	380	389	456	472	467
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不良債務(オ)	{(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}	0	0	0	0	0	0
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		91.4	99.1	102.9	102.5	102.9	102.6
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$		75.2	83.7	87.6	88.7	87.6	88.3
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		71.3	63.8	60.2	57.9	59.4	59.2
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額(H)		0	0	0	0	0	0
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病床利用率		64.3	65.7	69.0	80.0	80.0	80.0

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。

※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度						
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(参考数値)	23年度(参考数値)	24年度	
収 入	1. 企業債	0	0	20	90	100	100	
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	
	3. 他会計負担金	512	425	184	344	352	372	
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	
	7. その他	0	0	0	0	0	0	
	収入計(a)	512	425	204	434	452	472	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)	0	0	0	0	0	0	
	前年度許可債で当年度借入分(c)	0	0	0	0	0	0	
	純計(a)-{(b)+(c)}(A)	512	425	204	434	452	472	
	支 出	1. 建設改良費	1	15	30	198	100	100
		2. 企業債償還金	768	638	509	517	529	566
		3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
4. その他		0	0	0	0	0	0	
支出計(B)		769	653	539	715	629	666	
差引不足額(B)-(A)(C)		257	228	335	281	177	194	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	257	228	335	281	177	194	
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	
	4. その他	0	0	0	0	0	0	
	計(D)	257	228	335	281	177	194	
補てん財源不足額(C)-(D)(E)		0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(F)		0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額(E)-(F)		0	0	0	0	0	0	

※比較のため、全て税込み数値で整理してある。このため、税抜きの決算数値による比率と一致していないことがある。

※平成22年度及び平成23年度の数値は、平成24年度の目標数値を元に作成した参考数値である。

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度	22年度	23年度	24年度
収益的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	1,281,787	1,220,477	1,237,563	1,333,092	1,358,838	1,356,590
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	511,776	425,357	184,193	344,355	351,761	371,740
合計	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	1,793,563	1,645,834	1,421,756	1,677,447	1,710,599	1,728,330

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

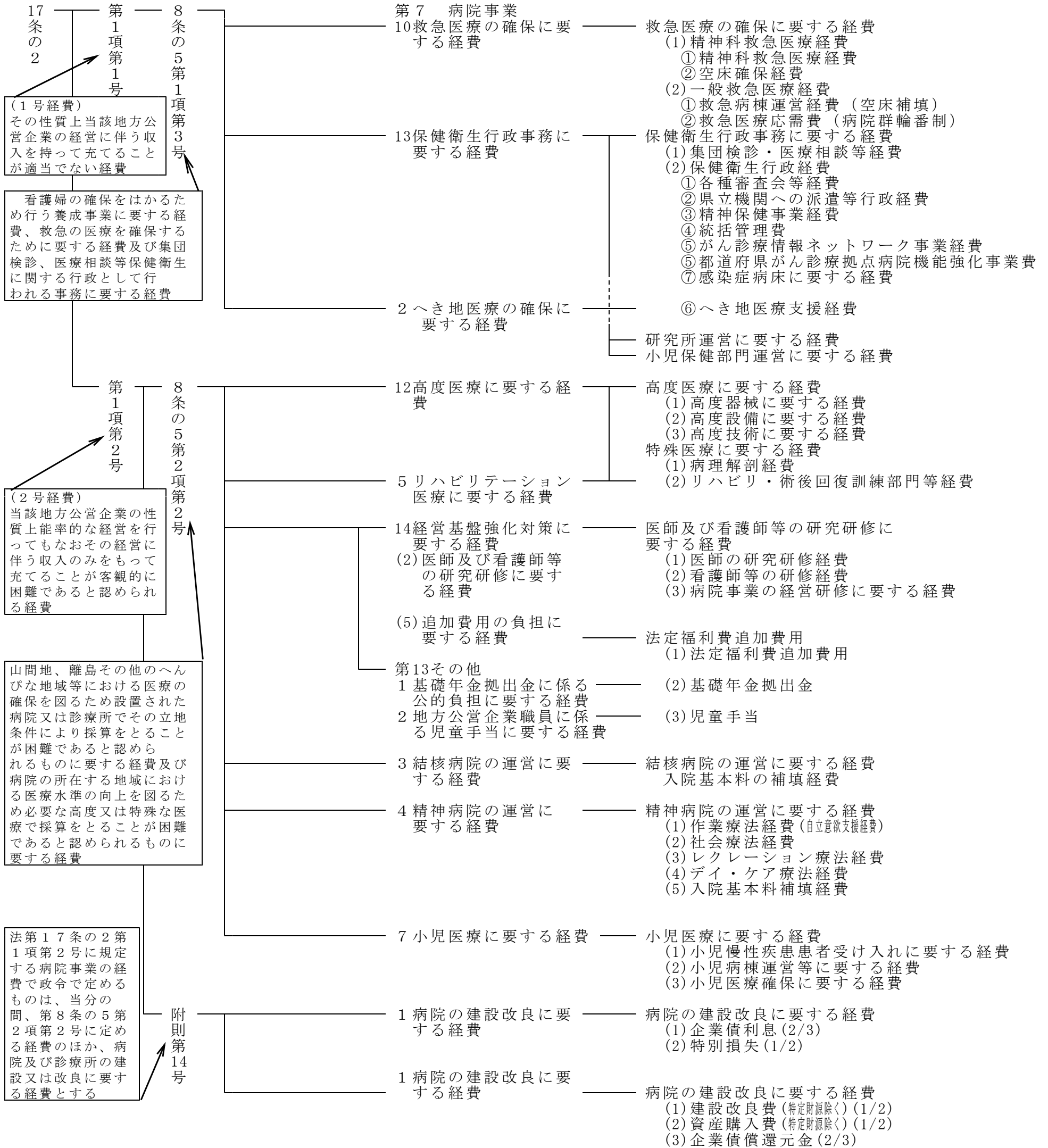
負担区分体系表

(愛知県・県立病院)

(一般会計負担金)  
(地公企法) (施行令)

(繰出基準)

(現行繰出項目及び内容)



(一般会計補助金)  
(地公企法) (施行令)

17条の3 (一) (一) 災害対策に要する経費 (10/10)